

2020 年 12 月 14 日  
JEITA 三次元 CAD 情報標準化専門委員会  
委員長 井艸 秀行

一般社団法人 電子情報技術産業協会三次元 CAD 情報標準化専門委員会出版書籍

**「3DA モデル（3 次元 CAD データ）の使い方と DTPD への展開**

**－24 の 3DA および DTPD の設計開発プロセス（ユースケース）を体系化」のご案内**

平素は一般社団法人 電子情報技術産業協会（JEITA）三次元 CAD 情報標準化専門委員会活動にご理解とご協力いただき、厚く御礼申し上げます。

この度、JEITA 三次元 CAD 情報標準化専門委員会では、日頃の活動成果を広く普及すべく、書籍「3DA モデル（3 次元 CAD データ）の使い方と DTPD への展開」を日刊工業新聞社から出版致しました。電機精密製品産業界の 3 次元設計実践事例を収集し、3D 設計情報のモデリング（3DA モデル：3D 製品情報付加モデル）とものづくり工程での活用方法（DTPD：デジタル製品技術文書情報）をまとめた実践書です。皆様のご期待にそえる内容であると自負しております。ぜひご検討のほどよろしくお願い申し上げます。

— 記 —

- タイトル : 「3DA モデル（3 次元 CAD データ）の使い方と DTPD への展開  
－24 の 3DA および DTPD の設計開発プロセス（ユースケース）を体系化」
- 出版社 : 日刊工業新聞社
- 発売日 : 2021 年 1 月 22 日（金）
- 本体価格 : 2600 円
- 概要 : JEITA 三次元 CAD 情報標準化専門委員会は、日本の主要な電機精密製品製造企業を中心に 2007 年 9 月に設立され、ツールに依存しない三次元 CAD 情報を有効に活用する業界標準の確立と、関連業界内に広く普及させていくことで、我が国のものづくり技術の進歩、すなわち設計・製造の革新と高度化を図ることを目的として活動しています。本書では、電機精密製品産業界の特徴と課題を説明し、電機精密製品の 3 次元設計実践事例で考えられてきた三次元 CAD 情報を有効に活用する概念、3DA モデル、DTPD、3D 正運用を紹介します。3DA モデルと DTPD が電機精密製品産業界だけでなく他の産業界、日本だけでなく世界に広く通用するために、3 次元設計の国際標準化動向と海外製造業での 3 次元設計への取り組みを説明します。3 次元設計における完全にデジタル化した設計情報データ群の 3DA モデルがどのようなものか、板金部品、組立品、樹脂部品の 3 次元設計手順を通して具体的に説明し

ます。3DA モデルを利用して作成したものづくり工程情報群の DTPD がどのようなものか、板金加工、製品組立、金型加工・樹脂成形の DTPD の作成と活用を通して具体的に説明します。更に、3D モデルだけでなく様々なものづくりドキュメントを含めて、3DA モデルと DTPD の 3D 正運用がどのようなものか、電機精密製品の標準な製品開発における 21 プロセスを通して説明します。最後に、電機精密製品産業界で起きている新しいものづくり（製造プラットフォーム、デジタルツイン、コトビジネス）に、3DA モデルと DTPD を適用して「ものづくりの DX（デジタルトランスフォーメーション）」に結び付けています。



以上、よろしくお願いします。  
(出版担当：藤沼)